

2015年4月30日

「2015年度ホームステイ活動アンケート」まとめ

1. 受け入れて良かった事

- : 色々話が聞けて勉強になった。(インターネットを使い、画像で説明した。)
- : 2カ国(ガーデナ・メダン)同時受け入れは、色々な交流ができ子供たちにとっても良かった。
- : 異文化体験ができ、楽しい時間を過ごせた。

2. 受け入れて困った事

- : ベジタリアンと聞いていたが、宗教上か個人的な事かが分からず、準備に戸惑った。
- : 猛暑のためクーラーを一晩中つけていたので、体調が心配だった。
- : 2名受け入れて、食事の嗜好がそれぞれバラバラで戸惑った。
- : 言葉ができない為、お互いに理解できず十分に事が伝えられなかった。
- : お土産を用意していなかったなので、頂くだけになってしまった。
- : 丸1日の計画(どこに連れて行こうか)を思案した。

3. 交流を通して気付いた事

- : 他の受け入れ家庭とも一緒に出かけるなど、負担にならずにお役に立てるなら嬉しい。
- : マカオは非常に教育熱心で、次世代を担う若者への投資の必要性を改めて感じた。
- : 学校教育が優れており、勉強以外に人間形成や躾がしっかりされていた。
- : 目上の人への接し方や自分の考えを確りと持っており、意見として伝える能力があり会話が成立する。
- : オーストラリアのアボリジニの文化は神道の考えに近いとのこと。西洋・東洋の文化の違いなど単純に言い表せないことを感じた。
- : 優秀な子供たちだと感じた。
- : 浴衣・茶道など日本の文化紹介は喜ばれた。
- : 日本の音楽や漫画などアジアで人気があるので共通の話題になる。
- : 2カ国同時受け入れにより、お互いが交流できている姿を見て充実感があり、青年部・学生部の貢献は大きかった。
- : 生徒達の過剰なお土産や準備に(お揃いの制服・靴・バッグ・ポロシャツなど)驚いた。
- : 英語の単語のみでの会話は何とか通じていたが、朝夕の簡単な挨拶がなかった。返事は返してもらいたい。
- : 言葉や年齢ではなく心と心の結びつきで楽しくできる。生活習慣の違いを最初に教えてあげればと思った。(正しいトイレの使い方・玄関での靴の脱ぎ履き)

4. 今後、受け入れ家庭へのアドバイス

- : 女の子は、着物を着せてあげると喜んでくれる。
- : 相手の国のことを、予め勉強しておくが良い。
- : 先ず、飲食・シャワー・トイレ・洗濯・ゴミ・寝具の説明。必要であれば、交通手段・メール・電話連絡など教えておくこと。
- : 案ずるより生むが易し。家族の一員として緊張を取り除き、何でも話せる雰囲気作り。
- : 本人の趣味などから話題を広げる。
- : ベジタリアンにも色々なケースがある。(肉以外の卵・乳製品・シーフードは可)
シリアル・パンケーキ・フレンチトースト・ワッフル・オムライス・ミネストローネ・お好み焼きなど好評。
- : 特別扱いせず、普段の生活のペースで日本の生活を体験させる。
食事の基本は本人が食べられるものを用意し日本独特の納豆・梅干・豆腐・味噌汁・とろろてん等、紹介程度に。(意外と反応が面白い)
- : 緊急対応として、本人の名前とステイ先の電話番号を携帯させる。

5. 協会・ホームステイ委員会への意見 (準備手順、情報提供、説明内容)

- : もう少し早めにスケジュールとプロフィールが欲しい。(正確なもの)
- : 今までの体験談や受け入れの様子の写真などまとめて、広く一般の方に知って頂くと良い。不安や言葉ができなくて躊躇している方の、背中を押すきっかけになるのでは。
- : イベントや説明会など委員会の方にもっと参加して欲しい。

6. その他

- : 2名一緒に受け入れることで、本人たちも心強かったのではと思う。
- : 初めての受け入れでしたが、事前に資料を頂いていたので安心して受け入れることができた。
- : 事前にレセプションで対面できたのは良かった。
- : 短期間で受け入れやすい。

参加国・都市：オーストラリア・マカオ・ガーデナ・メダン・重慶

ホームステイ委員会
委員長 古場 詩子